

ちよだ 区議会 だより



No. 234

平成29年8月3日
編集: 区議会だより編集委員会
発行: 千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎ 3264-2111 内線3315
ファクシミリ 3288-5920

第2回 定例区議会



日比谷公園

トップニュース

Top News

災害対策用備蓄物資・防災被服・装備品の購入を可決！

災害対策用備蓄物資(食料・水等)、防災被服・装備品の購入契約を締結するため、千代田区議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定(予定価格2,000万円以上の動産の買入れ)に基づき、議会の議決に付し、可決されました。



千代田区立住宅条例を廃止する条例を可決！

老朽化した千代田区立外神田住宅(昭和46年3月竣工。築46年)の用途廃止に伴い、千代田区立住宅条例を廃止するとともに、附則において関係条例の規定を整備しました。



主な内容

- 代表質問 2 ~ 3面
- 一般質問 4 ~ 5面
- 定例区議会活動報告等 6 ~ 9面
- 議案の審議結果等 10面

提案された議案等

◆区長提出議案

- ・条例 3件
- ・契約 5件
- ・報告 1件



●ホームページアドレス
<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

*この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」等

●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp



区議会だよりはCD版、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局までご連絡ください。

平成29年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、QRコードから録画映像にアクセスできます。

ちよだの声



小林 たかや

受動喫煙防止対策を早急に示せ

問 完全密閉型喫煙所について①昨年4月、芳林公園に設置されたがその効果は②今年度の具体的な増設予定は③適正配置を計画的に行う等、受動喫煙防止対策の道筋を示すべき。

答 ①苦情が大幅に減少。煙が漏れにくく、公園利用者等との分煙化に一定の効果が出ている②現時点では未定。喫煙に関する意見が多い公園を中心に設置を検討③屋内喫煙所設置助成制度を活用した喫煙所や、密閉型喫煙所の整備を推進。屋内喫煙の施策に関するロードマップを早期に示し、固めていく。

神田川防災船着場の日常開放を

問 ①防災船着場の役割とは。防災計画における位置付けを明確化すべき②船着場を日常的に開放し活用することで、区民に周知でき、災害時の活用促進につながるのでは。開放時の安全航行ルールが必要。都との連携は。

答 ①災害時の救助活動や物資輸送、平常時の防災訓練や河川環境保全のために設置。計画上は水上輸送基地としている②環境学習や地域活性化等、公益目的に限り使用を許可。年間150件程度の実績があり、認知度が向上し、発災時の有用性・活用性が高まることも期待できる。引き続き活用を図る。一般開放することについては、水位の変動や川幅・水深の制約等があり、構造的な面で不十分だと認識している。



千代田を紡ぐ会・民進



寺沢 文子

改正個人情報保護法への対応は

問 ①法改正に伴う区条例見直しの時期や方法、職員への周知や研修は②区内部や関連団体・事業者等への周知は③情報は、開示すべきは開示し、守るべきは守るべき。そのための区の方針は。

答 ①国の動向を注視し適切に見直す。並行して職員への周知、研修も進める②町会等の小規模団体も適用対象となった。関係資料を全庁で共有し、所管部署から各団体への周知に努める③情報の利活用と個人情報保護のバランスを図りながら、適切に取り組む。

介護保険改定にむけて

問 3年ごとの保険料値上げは、財政支出抑制が目的化し、高齢社会の安心を図る制度本来の目的が二の次になっている①制度を補うため、介護予防や福祉・医療を視野に入れた区の施策拡充を②介護職員確保や人材育成、施設の大規模修繕等へ、区の更なる支援を③区は高齢者へのボランティア活動に応じた交付金事業を実施中。この活動実績を特養入所時判定基準に加えては。

答 ①高齢者の生活を介護保険だけでは支えられないという従来からの考え方に基づき、必要なサービス等を介護保険外の一般施策でも行うよう、今年度策定の計画で示す②事業者の実態を把握し、都の補助金も踏まえ、区の支援を検討する③判定基準に加えることは、慎重かつ多角的な検討が必要。



公明党議員団



大串 ひろやす

高齢者の住まいについて

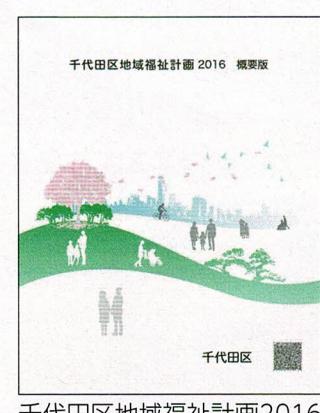
問 区の地域福祉計画において、「絆を幾重にも重ね合わせる」福祉が提唱された。新しい福祉の概念ともいえるものでは非実現していきたい。急速な高齢化に対応するため、医療、介護、住宅が連携した安心できる住まいの供給促進は喫緊の課題である。高齢者住まい法で新たに規定された専門家による安否確認や生活相談を提供するサービス付き高齢者住宅の整備が急がれる。区の考え方は。

答 生活基盤としての多様な「住まい」について考え方を明らかにする。その上でサービス付き高齢者住宅についても年度内に取り組み方針を定める。

防災リーダーの育成について

問 東日本大震災後、災害対策基本法が改正され「住民主体の防災対策」が基本理念に加えられた。この点、地域の防災リーダー育成は重要。防災士の養成を提案する。他自治体で行っているように区民等を対象に資格取得の経費を負担し養成しては。地域で顔のわかる防災士は住民の主体的な防災活動につながる。所見は。

答 近隣の助け合いを考えていく中で地域コミュニティが形成されることが理想。防災士の養成は、理想を現実化する一つの手段と認識。様々な事例を研究し本区に適した手法を検討する。



千代田区地域福祉計画2016

平成29年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、QRコードから録画映像にアクセスできます。

内田 直之 (自民)



熱中症のリスクと対策について

問 热中症の要因となるヒートアイランド現象は区政の最重要課題である。CASBEEの視点を踏まえた対策は。

答 ヒートアイランド対策は区政の最重要課題のひとつであり、積極的に取り組んでいく。また、CASBEEの視点は、建築物環境計画書に取り入れ、省エネ化を推進している。

障害者の福祉計画策定について

問 充実した障害者福祉を実現するため、障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画を相互に連携させるべき。計画策定の方針は。

答 計画策定にあたっては、切れ目ない支援が行えるよう、障害者計画と障害福祉計画、障害児福祉計画の連携を図り、一体の計画として策定したい。

小林 やすお (自民)



安全安心な建築仮囲いについて

問 区内ではホテルやマンション建設現場が多くなっている。その工事用仮囲いの曲がり角を衝突防止のため透明パネル等にし、通行人等へ配慮すべき。区が指導し、条例化等もすべきでは。

答 工事現場の安全対策は、施工に伴う危害防止を目的に指導している。仮囲いは現場内コンクリ片等の飛散防止のため、従来は頑丈な鋼板等を設置。近年、透明で強度の高いポリカーボネート製品を自主的に採用する現場もある。交通上の安全に関しても重要なので、工事の各種届出等のあらゆる機会を通じて対策を図るよう調整する。



小枝 すみ子 (声)



皇居周辺の景観について

問 ①皇居周辺の景観に責任をもつ行政主体はどこか②千代田区も景観計画を策定できる景観行政団体になるべき③超高層建築にあたり、平成15年に宮内庁から区に、建物から宮殿等が眺望されないこと等の要望が提出されている。今後の常盤橋プロジェクト等の建築について、区は協議すべき。

答 ①千代田区であると認識②団体移行に向け、都と協議を本格化していく③超高層ビルの建設設計画を把握した場合、事業者に対し、宮内庁と協議を行うよう、助言に努めている。



皇居宮殿および宮内庁配置図

大坂 隆洋 (自民)



公園の受動喫煙対策

問 生活環境条例やオフィスビル内禁煙化の進展により、多くの喫煙者が公園に集中する①完全分煙できる公園と子どもが遊べる禁煙公園の住み分けを②課題解決のロードマップ作成を。

答 ①子どもの利用が多い公園は速やかに禁煙とし、他の公園は地域と協議の上、密閉型喫煙所設置を進める②具体的方針を早急に示す。

旧高齢者センターの利活用

問 建物は閉鎖中で仮囲いされ、隣接する公園は多数の喫煙者で占められている。利用方針が決定されるまでの間、建物内に密閉型仮設喫煙所を設け、公園内を禁煙としてはどうか。

答 検討会において様々な角度から検討し、早急に活用策を打ち出す。

米田 かずや (公明)



オストメイト対応トイレの導入

問 人工肛門や人工膀胱を利用してい るオストメイトの方が排せつ処理をしやすくなるよう、便座の前方を広くした前広便座を設置しては。

答 全ての利用者が安心して利用できるトイレの設置を目指している。オストメイト対応についても、その効用や工事の可能性等を検討していく。

保育士支援奨学金について

問 保育士の安定的な確保と定着のため、区内の私立保育所等への勤務を条件に、奨学金等の支援を行う制度が他区で実施されている。本区でも導入を。

答 処遇改善のため、区独自に人件費への補助や家賃補助を行っている。これに合わせ、他の自治体の状況を見ながら総合的に判断していく。

飯島 和子 (共産)



介護保険利用料と保険料

問 所得により介護保険利用料が3割になる。利用抑制につながり撤廃すべき。保険料は見直しごとに上がり、軽減策を図るべき。根本対策は介護保険の国庫負担を増やし、負担軽減を。

答 利用料は区独自の激変緩和措置を慎重に検討。保険料抑制のため、一般会計での福祉施策や、応能負担により、適切な保険料額に向け検討を進める。

障害者福祉手当は精神も対象に

問 障害者福祉手当は身体と知的が対象だが、精神障害者も対象にすべき。

答 障害福祉計画の改定時に、精神障害者への手当てについても、総合的に議論し検討する。

*この他、神田一橋中学校通信教育課程存続について質問しました。